

4:15 【主】はヨシュアに告げられた。  
4:16 「ヨルダン川から上がって来るよう、あかしの箱を担ぐ祭司たちに命じよ。」  
4:17 それでヨシュアは祭司たちに「ヨルダン川から上がって来なさい」と命じた。  
4:18 【主】の契約の箱を担ぐ祭司たちがヨルダン川の真ん中から上がって来て、祭司たちの足の裏が水際の乾いた陸地に上がったとき、ヨルダン川の水は元の場所に戻り、以前のように、川岸いっぱいになり、満ちて流れた。  
4:19 さて、民は第一の月の十日にヨルダン川から上がって、エリコの東の境にあるギルガルに宿営した。  
4:20 ヨシュアは、ヨルダン川から取ったあの十二の石をギルガルに積み上げ、  
4:21 イスラエルの子らに言った。「後になって、あなたがたの子どもたちがその父たちに『この石はどういうものなのですか』と尋ねたときには、  
4:22 あなたがたは子どもたちに『イスラエルは乾いた地面の上を歩いて、このヨルダン川を渡ったのだ』と知らせなさい。  
4:23 あなたがたの神、【主】が、あなたがたが渡り終えるまで、あなたがたのためにヨルダン川の水を涸らしてくださったからだ。このことは、あなたがたの神、【主】が葦の海になさったこと、すなわち、私たちが渡り終えるまで、私たちのためにその海を涸らしてくださったのと同じである。  
4:24 それは、地のあらゆる民が【主】の手が強いことを知るためであり、あなたがたがいつも、自分たちの神、【主】を恐れるためである。」

主のあかしの箱が上がると、「ヨルダン川の水は元の場所に戻り、以前のように、川岸いっぱいになり、満ちて流れた。」となりました。主のみわざがなかったら、民はこの水の中で溺れていたことでしょうか。

私たちも、主のみわざがなかったなら、このように困難の中で溺れていたのです。時々、主の恵を忘れて、自分で努力して前進したような錯覚に囚われてしまうことがあるかもしれません。主のみわざがあったことを、心に留めましょう。もしかしたら忘れていたり、気づかずにいたこともあるかもしれません。もう一度、これまでの人生を思い起こして、感謝しましょう。

そして「神、【主】が、あなたがたが渡り終えるまで、あなたがたのためにヨルダン川の水を涸らしてくださったからだ。」というように、主の証を伝えましょう。もしも伝えるのが難しいなら、人々に分るような何か（12の石のように）を工夫しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

